

# 富士山百景を生かした

# まちづくり

## 決定までの流れ

平成十四年十二月六日

専門家や有識者による富士山百景選定委員会、意欲ある市民によるワーキンググループ合同会議（第一回）

平成十五年四月～平成十六年三月

お勤めの富士山の眺め・眺望地点（富士山百景）を、市内外の多くの皆さんから募集（個人応募や、まちづくり推進会議の推せんによる）

**募集要件**  
富士山を背景とした景観であること  
富士市内からの景観であること  
だれでも立ち入れる場所であること など

平成十六年六月二十三日

富士山百景選定委員会・ワーキンググループ合同会議にて、合計六百三十一件の応募の中から、九十一の百景エリア候補を選定。

平成十六年七月二十五日～八月

九十一の百景エリア候補を市民に紹介し、人気投票を実施（市役所二階、新富士駅ステーションプラザF U J I、インターネットなど）。

平成十六年九月

ワーキンググループ会議（計十三回）、富士山百景選定委員会（計五回）を経て、富士山百景エリアを決定。

今後、富士山百景写真コンテストを通じて、富士山百景エリアを追加していく予定です。

## 選定事業のねらい

富士山のすばらしい眺めを国内外に広め、観光交流に役立てるとともに、市民の富士山に対する誇りと愛着を深めることを目指して行われました。同時に、市民に環境保全に対する意識を高めてもらい、清掃活動などの取り組みも促進していきます。

## 活用計画

富士山百景を生かして、今後、さまざまな事業を行っていきます。

写真コンテストや絵画展の開催  
百景めぐりウォーキングや富士山鑑賞会など、景観を楽しむ行事の開催  
富士山の眺めを生かした施設づくり  
富士山百景ガイドの養成 など



岩本山からの富士山

# あなたが好きな富士山は？



公設地方卸売市場周辺からの富士山

## 「富士市らしい」富士山を見つけてほしいですね

### 「生活の中・まちの中の富士山」

もともと、趣味で富士山の写真を撮っていたことがきっかけで、富士山百景の選定に興味を持ち、ワーキンググループメンバーとして参加しました。

選定のときに重視したのは、市外からでも見ることができるような、ただ「美しい」だけの富士山の眺めではなく、富士市でなければ見ることができない眺め、「生活の中・まちの中の富士山」を選ぶということです。

例えば、富士山を背景にした田植えの作業風景などです。写真を撮るとしたら、富士山の姿は小さくても、人の表情と一緒にとらえたものがいいですね。製紙工場の煙突なども、障害物ではなく、「富士市らしさ」をあらわすものと考えて、富士山と一緒に一つの風景として見てはどうでしょうか。

### いつもと違う視点を大切に

市民の視点から選定にかかわって、広い視野で富士市を見られるようになり、私自身も今まで知らなかった富士の街を知ることができました。

ふだん、車で行動している皆さんも、ぜひ、歩きながら富士山を眺めてみてください。いつもと違う視点から見ると、今まで気づけなかった、富士市らしい風景に出会えると思いますよ。



富士山百景の選定にかかわった

望月 <sup>まさし</sup> 仁 さん(松岡)



富士岡・赤淵川からの富士山

問い合わせ

## 商業労政課

☎ 55-2777

FAX 51-1997

E sy-syougyou@city.fuji.shizuoka.jp

HP <http://fujishi.jp/cityhall/syouko-b/syougyou/>

## 富士山百景ガイドブック

を作成しました



富士山百景をエリアごとに分け、カラー写真で紹介するとともに、各地域の紹介や観光情報も満載のガイドブックを作成しました。商業労政課などで配布しています。ぜひご利用ください。